

●新年のご挨拶 山口県美容業生活衛生同業組合 理事長 佐竹章宏



2023年を迎え、健やかな一年の始まりに感謝を込めてお慶び申し上げます。
皆様方には、平素より美容業の発展、美容組合の運営などの推進にご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年12月には『和の会 楽しい着物フォーラム』に多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。久しぶりの大きなイベントに、和の会検討委員会のメンバーの頑張りでも無事開催できたことを大変嬉しく思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、まだまだ私達を取り巻く環境は決して安心できるものではありません。しかしながら「石の上にも三年」、この言葉にもありますように昨年は少しずつ変化が感じられ好転の芽が出てくるような希望となる話題も様々な業界で聞こえてきました。

私達美容業界も新しく未来を見据え、進んでいける土台を再構築していく一年になるべく、各業界と情報を交換、共有し、それをキャッチするアンテナを身に備え、この変化となる年をチャンスと捉え、一歩ずつ前進していきたいと思っております。

チャンスはタイミングだと思います。

皆様の記憶にも新しいかと思いますが、昨年のサッカーワールドカップに例えます。私も連日、胸を熱くしてTVの前で試合を観戦した1人です。日本の選手はもちろん、各国の代表として自国の誇りを持って全身全霊をかけて試合に臨むひたむきな姿勢、観る者は感動を覚えました。私も大いに感動しました。そのステージに立つまでの想像できないほどの努力、その一試合にかける準備、精神力。最高峰の舞台です、わずかな一瞬のチャンスを生かすタイミングをつかんだ側が勝利します。

組合も同じチームだと私は思います。ステージは違いますが、あらゆる場面でのタイミングを大事に次へつなげ、美容業界が「夢ある職業」と掲げていけるよう今年の抱負を「変化する力」とし前進していきますので、皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって喜びに包まれる一年となりますようお願いしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

●年頭のご挨拶 全日本美容業生活衛生同業組合連合会 理事長 吉井 眞 人
皆様におかれましては、日頃から当連合会の運営と事業の遂行に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が広く進んだものの、新たな変異株の流行や、生活行動の変化等に加え、入国制限の見直し、全国旅行支援、旅行割引の実施など社会経済活動の再開・活発化が進む中で、感染の再拡大により重症者、死亡者ともに増加しました。

新年早々ではありますが、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

政府は、社会経済活動をできる限り維持しながら、効果が高いと見込まれる感染防止対策に取り組むものとし、その中で国民の安定的な生活確保のため、「三つの密」を避けるための取り組みを講じつつ、事業の継続を求め事業者として美容業（生活必需サービス）が挙げられています。

公衆衛生の向上、衛生水準の維持向上に資することを使命とする美容業は、新型コロナウイルスの感染について正しい知識に基づいたサービスの提供が求められており、全美連では、令和2年に策定し、令和3年11月に改訂した「美容業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を再度改訂し、感染拡大防止対策を推進しております。

昨年、第50回全日本美容技術選手権大会を群馬県において、新型コロナウイルス感染症予防対策等を講じて3年振りに開催しました。

この大会は、若い技術者に夢と目標を与え、更なる技術の向上を図る契機となり、美容業界はもとより、一般社会にも広くアピールすることを目的としており、今年10月に広島県で開催いたします。

昨年、美容業に関わる事項が規制改革推進会議及びデジタル庁の「デジタル原則」に適合した制度への見直しの検討対象となりましたが、美容所の使用確認、美容師の業権、資格制度、養成制度等の基本部分は、美容業が衛生的で高度な美容サービスを提供し、消費者の信頼を得て発展するために、何としても堅持すべく、組織の力を結集し対応してまいります。

そのためにも、組合の組織強化は喫緊の課題であり、全国的に実施している養成施設との産学連携事業などの諸施策の遂行においても、引き続き、メーカー、ディーラー、養成施設、ジャーナル等すべての関連する方々との協力関係を一層強化し、美容業界の発展につなげていく所存です。

結びに、関係各位の変わらぬご支援ご協力をお願いすると共に、本年が皆様にとって実り多い年となりますよう祈念して、新年のご挨拶といたします。



●知事年頭所感 山口県知事 村岡 嗣 政

明けましておめでとうございます。

すがすがしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、山口県美容業生活衛生同業組合の皆様にとりまして、本年がより良い年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

私も、新年を迎え、県民の皆様が安心して暮らし、豊かさを実感できる、そうした希望にあふれる県づくりをしっかりと進めていく決意を、新たにしたところです。

さて、長引くコロナ禍に加え、物価高騰等の影響が懸念される状況にあります。まずは何よりも、コロナの危機から県民の皆様の命と暮らしをしっかりと守り抜き、大きく傷んだ社会経済を再生させて、山口県の元気を取り戻していくことが重要です。

このため、私は、本県ならではの「やまぐちデジタル改革」の取組を加速させるとともに、脱炭素化の取組を新たな成長につなげ、経済と環境の好循環を創出するなど、これまで取り組んできた「産業」「大交流」「生活」の「3つの維新」を更に進化させ、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現につなげていくこととしています。

今年の干支は、「癸卯（みずのと・う）」であり、「これまでの努力が花開き、実り始めること」を表しているといわれています。

貴組合の皆様におかれましては、コロナ禍においても、確かな美容技術と衛生水準の向上に取り組まれ、快適で豊かな県民生活の創造に多大な御貢献をいただいているところであり、改めて感謝申し上げますとともに、本年が実り多き年となりますよう願ってやみません。

今後、県政を推進する上で、皆様のお力添えが更に必要となりますので、皆様には、暮らしの安心・安全の確保に、尚一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口県美容業生活衛生同業組合の益々の御発展と、組合員の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたします。



令和4年度 生衛業功労者表彰式典

令和4年11月14日(月)山口県総合保健会館にて、令和4年度 山口県生衛業功労者表彰式典が行われました。生活衛生業関係者が一堂に会し、業界の衛生水準の向上、利用者又は消費者の利益の擁護に貢献された方々が表彰を受けられました。栄えあるご受章おめでとうございます。受賞者は次の方々です。

- 厚生労働大臣表彰 水津 広行 (小野田 アトリエグランディール)
- (一社)全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰 森脇 昭彦 (宇部 サロン・ド・あき)
- 山口県知事表彰
 - (生活衛生優良施設) 吉井 美江 (周東 UP美容室)
 - 溝部 美鈴 (宇部 オリオン美容室)
 - 小田 浩文 (長門 Hair&Make LA.PU.TA)

●山口県生活衛生同業組合連合会理事長表彰

- (優良組合員) 若竹 亨枝 (岩国 粋美ビューティスタジオ)
- 竹内 正人 (徳山 SNIP徳山)
- 藤井智恵子 (防府 いずみ美容室)
- 下川美代子 (宇部 青りんご美容室)
- 長澄百々代 (萩 モナ美容室)
- (組合功労者) 富永 麻里 (防府 hair Maruzen)
- (優良従業員) 田上 泉 (岩国 JAM's hair&spa)
- 森脇 知子 (防府 ヘアメイクBe美)



理事長のひとりごと

第十話 美容師という仕事 その1

前回、業種に関する真面目な話をしましたが、そうなる可能性もあると思います。これはこれで皆で考えていけばよい方向へ行けると信じております。

今回は僕自身の話をしたいと思います。何故美容師をやっているか？です(*^^)

僕が幼少の頃の美容師と今の美容師は随分とスタイルが変わりました。当然の事ですが！僕の父親が美容師だったので、この人が出来るのなら僕も出来るだろう的な甘い考えで美容師になりました。ホントに甘かったと思います。実家が美容室でなかったら絶対にならなかったと思うし、なっても続かなかったと思います。

人が喜ぶ事や物を作る事は大好きですが、髪をコントロールする事は苦手でした。全ては周りのサポートがあったからこそ続いたと確信しています。だから未だに自信はありません！

うちの父親は昭和20年代に美容室を開業した男性美容師のはしりです。まだ全国的でもそんなにいなかったと思われます。本当に少数派の男性の職業で、県美容組合の経営講習会で講師の杉岡先生が良く言う、商売するなら少数派になれという事をしっかり満たしてました。だからこそ、自分中心で仕事をして一生現役で出来たのだと思います。まあ、母親の力もあったからだとは思いますが(^^) そんな父親を見て、こんな美味しい商売はないと感じて跡を継ぎましたが、僕には向いてなかったです。

こんなネガティブな話を続けても面白く無いので小分けにして時々話していこうと思います。

続く